

今

年1月からNISA（少額投資非課税制度）がスタートした。NISAは

年100万円までの投資について、配当や譲渡益を非課税とする制度だが、この100万円の上限について、旧来の投資経験層からは「少な過ぎる」という声をよく聞く。今まで株式や投資信託に投資した金額と比べると、年100万円ではもの足りないようだ。

一方、これまで投資経験のない若い世代からは年100万円は「多過ぎ」で、そんなにたくさん投資に振り向けることなどできないという話をよく聞く。

だが、「家計調査」を見ると34歳以下の単身勤労者世帯の男女平均の可処分所得（手取りの年収）309万円のうち消費に回すのは189万円、実に年120万円も黒字になっている。

むしろ、「家計調査」には若干のバイアスがある。日々の支出について、詳細な「家計簿」をつける調査に協力してくれた人のデータだけが集計されるため、マクロ統計よりも家計の黒字が多めに出る傾向がある。だが、これは裏を返

数字は語る

大和総研金融調査部
研究員
是枝俊悟

手取り年収300万円でも 家計簿と先取り貯蓄で 年100万円貯められる

120万3700円

34歳以下単身勤労者世帯の年間黒字額

総務省「家計調査（2012年）」の年換算値。男女平均

単身世帯は意外とお金が貯まる！

単位：万円、年額

	男女平均	男性平均	女性平均
① 年収	370.85	389.20	340.49
② 税・社会保険料	61.12	63.08	57.96
③ 可処分所得(①-②)	309.72	326.11	282.53
④ 消費支出	189.36	187.16	193.76
⑤ 年間黒字額(③-④)	120.37	138.96	88.77

* 総務省「家計調査」(2012年)を基に大和総研作成

せば、詳細な家計簿をつけて日々の支出に対する意識を高めれば、家計を年間120万円の黒字にできる可能性があるともいえる。

お金を貯めやすくする工夫として、多くのファイナンシャルプランナーは先取り貯蓄を勧める。給与やボーナスの支給時にあらかじめ積み立ててしまい、残額で生活するようにすると貯蓄を増やしやすい。例えば、毎月5万円、年2回のボーナス時に20万円を積み立てれば、年100万円になる。

家計簿と先取り貯蓄を使って年100万円枠の「使い切り」に挑戦してみてはいかがだろうか。